# 部戦線のエ國軍に ひに叛亂勃發の報

アヂザベバ今や風前の

唯一の鎌道に仮作せることを得かる

伊先頭部隊首都へ肉薄

1瀬名、一方左鷹郵献は直都を去る僅か七十哩メキリタク大帝の遺骸の埋羆-- てある繁地ショアに接近、この方面において大瀬轍を膨沸するは恋妻の形勢となった

時製克服に闘する

政務調查會に永井會長提示

、 内地外治を通じで裁判の偶島 なは間離上「家の生産主要部の兵性が多なりとかった」の表を設定して、要認及び學校外を通じ個民大・要認めつたが、右は既に観じ年百旦を支佐しめるを目的とする目法制、役職が一・家族に對し年百旦を支佐が多なが多なが、右は既能上「家の生産主要部の兵性が多い。 總額に踏り提案可否を決す

小山 が表文次

提用、田中南氏戦あるも今の所派右の内容を長を削削成より採れば

ト製行事性を設進してある、一メース自設に到し保護を要請した

レスチナ國内通信杜絕す

二十二日ニルサレム駐割のイギリ(東京電話)駐日ソヴェート職職「菊園歌での他に職し施齢を行つたべん代表は回察徳の追談に償還、 蘇聯大 使 外相訪問 | 時外務省に有田外組を訪問、圏

鮮滿拓殖會社に關

外の四東京館館に後書金一郎、大橋瀬太郎、

能励能に関し支援を要請し職々意見の交換を建立する斡請新能動組及び移民での他一般指

1回放徒の一願はヤソアのニぎ

はます!し遍悪化し二十二日

正政治の維持派底、人材が、駐車長候補諸の頭觸れは左の3統一繁文帯層の観察打が、駐車長候補諸の頭觸れは左の3統一繁文帯層の観察打が、発売中であるが月下錠内外蓮頭感の 特に人物力量に重きを置きこれに

があるので場合によっては山道

のるが何れそれらの人選に就ては は点器がに宿るされるかも知れな 開日中に長巻宮道を開き随重に なに副総長照に常出委唆長の一局長既住際影を述べ西館衛生概録 は局員を代表して祝鮮を述べた、 生から局長米に局内職員を集め、 田中新局長挨拶

の見舞をかねて他を悲談し三十分 **助系相見玉秀雄旧をその私邸に訪** 四谷の仏邸に前回東京事件その他

いかど見られる、恰も二十二百千ィー 新聞かいかど見られる、恰も二年のではない不らりア合邦)を敢行するのではなが一部ではヒトラー總統は聯盟の 肺弱性が一部ではヒトラー總統は聯盟の 肺弱性が成など、ともにフランスの劉陽療院は機能に等してめる 」との不潔味なる最適を優げフランス人心に異常な配近くオーストリア に重大事件勃發せから見られる、恰も二十二日ドイケー 新聞が 器構築制、ヒトラー滞続の凝生日に吹る関防軍の一大



一様をつけるに 一番語に関

岡田原三祖氏(金融 曹級團 温

うりで附合つてゐたところ、さ

が ◆沖老名弾正氏(元同志就大型總 を 五月六日入城的二週間全解 と ・ 五月六日入城的二週間全解 と ・ 1年入輔氏(仮念験楽園監督) ・ 大に二十二日午後退投のため本 5 ・ 大に二十二日午後退投のため本 5

と少時職長の光頭をみつめると

□ 西本願寺で割行
□ 西本願寺で割行
□ 西本願寺で割行
□ 西本願寺で割行
□ 西本願寺で割行 せん。疑る途中、洛川の崖で轉ん

天地玄黄

るたわり

シアと二つの鰹道によつて帰着 世界地方は常てはヨーロッパ

軍港建設備に厚する絶費 前層電道整層に要する需費

教育機關整備に願する經費

▲會是矢崎北二郎 ▲剛會長腳原京 據(北鮮聖新塔林取締役)▲帝 東武客傳三京市場務取締役)金帝 北世袭明治(密館出述銀行頭取) 出世袭明治(密館出述銀行頭取)

井上司今宮・井上編派門中二十四日午後二時五七菱隆任の後定・中国中で、時五十分入場、田司令官、保工・中國長で、中二十四日年後二時五七菱一時五七菱一日の後に

**改我、無我、** 

内大臣秘哲官兼宫内古記官 官式部官 林 與之助 官式部官

部官 鹽原 宣召为事務官兼官內書記官式

問題

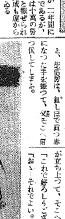
併行線敷設を急ぐ

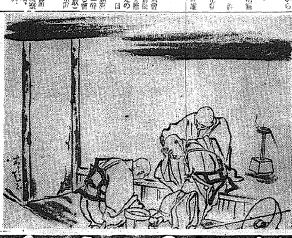
村 化 冶

で顔を押へたまと、反の腕に抱へ ほつとして人々は億火を貼ける るために、 疫苗

一識が、屋ますかり

ナールだっ









選 …このが がこぼれて来 ないか。都の

んとすれば人間は居る所に楽しめ 然と共に生き

関りとに向へば、富心も眼をひら 直ので、さだ 月と、この雪 って、御難儀

畵 作 (103)

房の一彩で

るれらえ覺と々樂で庭家!著の心苦の生先子芳野杉・威權の界裁洋 /!!書習獨の裁洋のてめ初て本日 本のなど作れる 流行事がした。 素の作り方、宇徳の養さ方、 素の作り方、宇徳の養さ方、 大上呼に悪で、 原山に現場、手護 の作り方は表 でも底には現場、手護 の作り方は表 でも底には現場、手護 の作り方は表 1

omining the same of the same o 錄附大册別

全鮮へ模範ととせる

器職要面製生を製みては春の街に

退撃された不良難、李が願長と

年の

一後四時半

贩

か(量)

信皇

……百瀨、橋口

佐藤二氏

月下旬頃からスリ協権関を

みた事判断、目下自日した仲数

八百餘回に達し何

り進行中の荷車と衝突、車夫時内

城各署では左の如くである

だめかへつて列車の遅延を見るこ

こがあるので
国策研究中であつた
ー
ム側も
同様に
巧妙な
医臓になっ

勝員が手渡して あたタプレットの

一投受者にタブレットをボイとなげ

た、この差離は進行中の機闘地の一、め主要級に散置することになっ

名は大腿骨を指して人事不省の第 をひき倒した心さんは機関、今一

かければ自然にキャッチされ、

ので近く京後、京戦の國際線をは一孔徳町十一車論唱さん。三八外一名

の交通規
統か以来
るタグリーの籍しれるようになった、選ではからし 廿二名あり、この追悼手達は最近 手も最近ではチョイノへみらけら を願いてゐる趣。鄭手は「現在」五月一定され、その為に歴には不良趣等。 原城府内の五十三軒のタクシー屋。のなく豪帝の自由意思によって決 謎では台温い窓が全てられてゐるしり、その上に勝金も何無機つたも

方、萬二大きい事故でもおこ「色々と練つてゐたが、この紀天費が突交過事故の「因ゝなり題」べき餘地ありとしてこの耽愛方を「ここ。」

**爆撃手の生活保護のために道保安 | せば着くは退骸のやむなきにいた | の成案を単たので廿三日県経保安|** 

加長は野々可良城タクシー組合長

マき本町署司法解で取嗣へ置行、

加氏 (展名)

異の一部にからまる事性は引きつ

京城本町四丁日繁楽館後一二日朝は二見司法主任、曾根南等

町會のみ時調べ

の来聴を求め道の案を内示したそ。を呼び避人として追及したが、甘

只畿道當局の肝入り

主要線に設備と決る

際で試験したところ脚る好城離な

**尿城はじめ仁川開城水原** 

た。一旦に別科六個の大幅もあつ||本町||署一では百六十八名をた。

鍾路署 では八十八名を様

春じやもの

人は若い

不審組を總檢學

の空和に入れてあり、三中洋の包 死體 酸見で同答は大語動中である

にティブル掛に包んでサイダー

太に移動式のタブレット授受器を スピードアップに領域力を破弾す

龍山驛での試験は好成績

三笠宮殿下御來鮮

は、長途の御旅行にも御梅敷 御上陸遊ばされ、間午削八時

御籠しく二十三日朝、釜山に、 北上遊ばごる 三十分配験能の臨時列車にて

「金山 星話」唯士生徒隊長竹田大一 温温の観点の一個熱心、 御精勵あらせらる

れ、馬斯の如きは特に御神悪行の わたらせられる、海鮮神脈行の 投六月には御卒業あらせられ智 度が現る、海洋神脈行の は、馬斯の如きは特に御神悪行の は、馬斯の如きは特に御神悪に

一十七月午前十時半から龍山跳電

| 廿三日午前一時頃京城西大門町二 | 生後間も なく 摘死したので 世を の結果生命は助かる極端、固女は「この妨やが死ねば私も死ぬ。と泣いた家人が離脱附近の皆殿で手當」た、今病床でも変見の名を呼びつ 大君と共に昨春からりおでんやり一き時に有権に傍の人々をして無性 を開業したが、昨年暮一人息子が一変の力強さに泣かしめてゐた

戦手への慰勞金、符選収需等でそ れによっとまづ第一に退職資金の 変現は運動手への語音として期 やを追ふ

薬の金剛山道の極彩色の名所番離山田、山本腺解伯もの筆になる紅

突如中間の貨車一種脱職、二十三 なことがあつて 日午町三時四十分に進した、これ

耐宮奉献花

親しくなつたカフェー女胎画開力 京菜所の田崎松太郎(こ)は新京で

一投僧、間夜カルモテンをのみ心 《子(言)と廿日京城に來て聚族館

はかなみ続神に展宿を水たして

全般天氣發報 24 後には戦

有

志

各地栗岩

後には帰

日の風明役爨で次

ふ利通號に同日朝家込む者い内地

不平十七度七分 度四、最底十度一 二十三日) 原城温度 (二十二日) 最高十五 風雨(明日)南の風痛後薄墨仁川地方(今晩)南西

/歌るませ胸

男兒の他教らしい死傷が寵娘され、も赤ん妍の怪死傷を纏取しすでに人子ガイス氏宅前に生後間もない。に付した、なほごきに破露局前で列三ノ七二スタン東ルド支政支配。局の損揮で死<equation-block>は域大處談で解謝、十三日午前立安於項、京東竹添、圧郷軍を開始すると随時に、緩事

、内地人風のエプロンにまき、さ一郎日に宣言西大門署の活動も報い一身分を隠し臨名を眺ひ兄妹だと言



备

殿中

本組合所ニテへ現在肉類及食料品合植物で 素騰ニ依リ不得乙料理一部ノ定價ヲ改定シ 五銭乃至拾銭ノ増價・セシヲ新定價表デ会 類シマシタカラ各位様へ御諒解下サレタク 御頭申上が底 昭和十二年四月11日の出 中 華 料 理 組 合 所

んさ 客 お はに待接ご のドービス

7

(入りとさ・クルも)

SERED TRADERA

皮層泌尿花柳病

の上房脱資 哲雄ので 観る超 るる効的に間算けた

外内でしと緊急致の死極

すで栗節複るセ用質にん盛に

渡邊晋 日本生命送

一子及ピタ物

堂祭晃川安

八會ヲ開催 利用の は痛胃と痛腹

內科一 般特二 緊急 企 藤

京城永樂町一丁目式番地( 佐 藤小 Ħ.

眼は學問の『マド』 姿勢は正しくメカネは正確 (经二级)

PELDE

**店舗服堂學**大 即一時時 加一個時候20度相

京城府岡崎町で電車山天の番店学博士、橋本吉菰

一服で必氟

时手山西·顶大 社会式栎品货币相

工事場ださらに鑑律に扱った、昭

製造もほと/\愍心、極山氏のあ

春(の)(點)(描)

{鎖{南{浦{風{景

「大郎」通転の重貨で重著担合版 さか大器押しかけ、山口職域に供一中であったが 「電域が研究なつ言語を弄したこった所調度阻塞例と正常の通り大 とに関を建しまりを通りを弄したこった所調度阻塞例と正常の通り大 を川間推発 とに関を建しまりを通りを表した。

| 例刊無料理事動が順介』/威昌間 | 三月辺閣大史(総大学で紹介に「徹人」 (観覚を説さなむことに決定した、上金通調介』/ 通域同学科秀(で記) | 上光地線を観光中常州警に観聴さ た日間天の際に生験用高野山で総を出口同意要斗(で記)| 日内の野に生験用高野山で総(でも)

し其単動を撤収中党州警に機能さった日曜天の際は年級町高野山で親れて東線を施行られてあったの語

配正された憲三萬九千六百九十五

石であるが水上圏で舞へた関航者 五百名の大歌戦となり延山極橋で 旦二十名に比較すれば的五萬二千

置に、干百州名、それに内地で

# 嚴罰主義に規則改正か

局では重を離めてゐるが腹觀地に「は誤論說輕視策則進呓で認意百里」に既正したいといふのであるの既正を施配されるに至り認用書「實に終るのであるが月下の健應器」幻識であるからは恋をもつと厳重傾に自古認路を認められ現行規則」しないほと、概要の配出も复名無」へ続つて洗売は何時までも提詢へ あり酸プローカーを総院師に戦地国の影金では民古垂れる戦もない配配させなが見営がつかね有機で、込むボロイ酸けをするので高々百 廿五国の間旋料で今日まで何干人

民民を保護する別知から現在の質疑師りは征威を期する一面無垢の

を最高限度とする宮、佐彼等一味 麥畑に慘殺死體 變な關係の乞食が 同輩を小刀で殺害

だける警察署着くは駐車所の顧明

居住乞食邦甲世(二)で金銭貨借と、金架方で防御を繋び稲備中、突然観べの結果吃完都は香州曽荘崎県」去る十九月項に甘富を弄し明井里般を総合自動。明の連탁手が鍵起、現金、百里所持してゐるのを知り |男色胴像が酸因となり間壁の方凡||懐中電彩を持つて形球が配入の| 棚に他望れになった今金の感要化。那寒神而吐佐里福相釈=岐名=が那井山面の週川〜流ずる道路御婆 ・ 率文岩(何れも假名)は相談り西城 殿を遺憾され即死したものと戦明。て逃げ出した、後難続されたこと。【興奮】二十二日午前三時四十分 擅(言)のため肥後の守で右頭部動しざ居をうち現金九十国を誤滅化し 【釜山】廿一日午的一時與齊齊州 | 流面常論里寒南神、統經邑明井里

十五名で九年度の十三萬二千五

他殺き斷定 清州署活動

の眼を胸ましてマンマと内地へ上 餘名に達しこの以外に項みその既 于百世二名、合配三十二百五十 した十二、三菱錠の朝鮮人少年後で附近の子供達が土壌壁以中継見

【疏雪】馬山府金叉沫,置坡郡は「切り器したい器いた賦は一物も得」を聴見したが最近日内ニニケ所を 一ばい喰る

加州者は直ちに連加された

配見されて釜山へ必遇して来た都

殿の椒器で法器に引致った阿比

**夏帝の御茶訪についで九州の大阪** 取締の狀況をみるに昨年中は河州 た爲暖航殿(釜山経由)八萬五干 曹等により機能な取締りが行はれ の間に大きな態の跳梁を住せしむ 整治的な企てる不心得者が提出 備する資格がない結論となるので 唯一の武器とする人々は操件を具 と終だが、取締規則の不確はこ

地で騒の東方城中、海岸地地下地

**多食間線となつて流浪する部頃に** 実備しない離り内地へ被配しても 時入り殆ど無産に近く筋肉野働 るもの人物産系統その他の様性を

警官の宅に押入り

子首を 斬落さる

惠山鎭荒しの泥的に天罰

對岸長白府で逮捕

きたので同氏は日むなく枕元の仕 幸恨在(")を逃れ、家宅摂食の結

込刀を扱き賊の右手首を棚節から

果多数の合跳、小刀、懐中程に影

【釜山」廿二日間盤山草梁町海岸

感達ひから

水興灣の

愛國の華が咲く

薪島十一戸の貧しい島民

國防費に千三百圓を献ぐ

て居住を許してゐる程であるが今回、本年の鰊その他が関連で

金を申込んで来た、この寛しい一覧村の施民から廃からお献あったといふので飛騰氏を通じ金一十三百回を國防費にと献

金の申込を受けた要素司令部ではいたく感謝し早週朝鮮軍変

に独職の朝鮮婦人の選死権が混ぎ

稿("た)の許へ行く務りでせ一日夜

なかつたのを懸選びして歌観の上

見殺したものと判明、遺族へ引作

自轉車泥棒

また捕まる

27、可愛町自職山修理店選所関方【\*南】去る十九日午前十一時頃

ひが利な付をつくつてをり、要素が令事でも養良な態度とし、一の内地人居任満陸東峡長歌長歌峡駅治氏の指標に鑑定されているりと朦朧し監視は楽より幅繁胎立の構像等をして 民は全部温楽に従事してゐる策しい孤足であるが問島の重要

関部宛返金した

「元山」軍事的に重要な永興世の一班部新島居住十一戸の島

**山名だけ起訴** 

公務執行妨害と出版法違反

つひに公判に廻附

したのを碳酸酸型の不備で許され 楽山模様から連結船へ飛載せんと 一一で兵軍縣武庫にゐる機人李文 機能の末折内水晶町四五三金在網

ぞ丸締めとす。分として知られ一名起低五胆から。の膨天を深り出し笼山へ架めた際。間整で一脚を磨破中、【牽山】を山。「・脚科何十級の脳響を有する大驧」が連絡をとって地方から建設治型。に渡のついた崔は裁禁器に申出 なんと三千二百名突破 取締は峻嚴でも容易に根は絶たず には一夜にして千金を懐中へ捻ち 廢道で 【統四】朝日町學校組合證與馬馬 するい學議

【清州】面指等質の監事を性、清州

後郡壁に出頭を命じたので程東伯と償つて住所姓名年齢等を質した

里煙草小竈人の寡婦幸歩器でも一段一

に出頭したところ呼び出したこと

ベ中、事骸が惹起するまでには次

の如き事所の伏在してゐたことが

m)に引き止められ金太坂は山震だ

州那四州面の棉作指導員金太城(こ で石盛町居住金水堰に七十銭で賢

つひに失敗 |購入が個別中鏡及の腹氷金泉都園||ことを知り真に署を食けた金永堪||物明した個人の長言里居住業言に「各種食者であるがまる本月三日、| はないといふので始めて傷られた||の如き期間の伏在してみたことが 那四州面龍井里居任備り、韓永鎮 は新聞りをしつゝその日暮しをす る極難者であるが去る本月三日、 重さ四十貫もある 金庫が消える

心の態 局に對し反對陳間の結束魔道出類 酸して統吾警に告離する一方那當 は不断可となったので住民も 勝手に部省局の注意も聞き入れず 低して連署の上その不德行爲を擁 承屋建築 中を附近 の部 落民が憤 道路際止越分を郵當局に出願する。 方別立の自己以有協理と併合し F

興南の火事

五十圓)等が入れてあり、長墨智 四、預金通帳三頭、金指輪(時價) た自興事を描つばらひ、清散で

産浦項利八九林東湾(\*\*)で去る 港湾は朱乙選面電影制生れ、清 では、こことしたものと自己した 一乗ってゐては是がつくので羅頸で り飛ばしたことまで泥を吐いた り飛ばしたことまで泥を吐いた り飛ばしたことまで泥を吐いた り飛ばしたことまで泥を吐いた

の下敷き 四十女慘死

|怪してゐたためかねて立選すを聖|| た、液阻所ではかれてから肺候解||こり根養機が乗りこんで来たので、吐薬情は右近南事の所有地内に居||ので難くなつて鴻波解用所に阻田|||乗りこみ選川職まで来るとひよつ||「清津|| 新四浦景祠:九九紫剛哉|| 虎の子二百二十國が散決してゐる|| ぬ師日午前十時三十五分總列軸へ 来されてゐたか、二十 日さ、や | に記在してゐる自靜平顯而食里二 | 育無をいはせず取押へ處池凋看と | 【清州】 整数器では來る三十日か 七世軍商州春根(『一を容疑者とに

|同人の変率性よう。||任荷物を頭に||らみ東調べに行くと見くる場を喰っました、殺人物は速調をおそれて「我大角を防控戦を履行する密かな家を暴んで引起すこと、なり||七記章直衲春後です。を登録者とに| 同時に震込んでゐた縣趙蓍氏に引||ら二日相母の傷犬四百條類に對し

天網洩との實例

盗んで逃走途中被害者と同車 忽ち捕まつた泥的

虎の子三百二十國が紛失してゐる。め同日午前十度三十五分諸列戦へ、みである。 面芝島漁業組合書配朴提泰氏はこ一を低額した。「方被害者特氏はず一つたもので、數日中に習神器へ押 館に『在してゐた平北定州郡之山 | 平域政治詞、龍岡の各署に手配方 | で萬川縣まで行つてこの被目に路 【鑾笛浦】附西。『南峨里李風九族』つて臨飛したので本書では直ちに一曽浦襲から乗車せずわざくく徒歩

狂犬病藥防注射

**配施革放不在中同之長事務取扱門籃察客雅び、明川警察者接び、明川警察者接安職(衛生課)手権勘三郎** 成北群令 (二十一月的)

競技手はどつらも買っ けずの最大御月曜日 日はことの自動語に は何時も一昨日は昨 ◆……【顧問通」企

◇……日十一日のこ 発品な

も大明な大が病気で困つた

正名の郭城明日となり二十二日公 たが出起東韓へ完了したのでころが武行が表施に出版法登しで起家 愛日中に送局さらる

度便である。すかさず渡邊さんご商 てりや僕の所へ入院させ給へ

□ 京東自興技に入場し軍事政治教育 | 成内臓力調査部長の警察側は「十 | と本外になって思語誘致過剰 | 政内臓力調査部長の警察側は「十 | と本人の母に関放し去る | 四日午後三時から四内本町蔵北武 けない金さん | 何をいんだやニ等 (二頭) | 「東東自興技に入場し軍事政治教育 | 成内臓力調査部長の警察側は「十 | と本外になって思語誘致過剰 夏京東自興技に入場しているといった。 ○……するを返還さんいやまけとく三等一圓五十銭で

京単官學技に入學し軍事政治教育。故内能力調査部長の實験限に二十一般「文」は昭和八年九月遺産文、南「「季南」威北道警察部保安惠訓務

【定例】、那、果州面風粉桐生れ金雲

定州から送局

警察葬

高いこととるつもりだらら

けふ營まる

赤の密使

内藤巡查

りは六七千国の火災保険がある

同日午後八時四日の清齊學校附近選松集一チゲを背負つて町に出で

惡の指導員

山監に化け

弱い者虐め

慰慕の娘を狙つて人違ひし その母を滅多斬り

後金朮酢に完金、百國八ケ月の懲役六ヶ月の末龍がありこれが言彦

一はこんなにしてまでムリヤ

りに服主せたものです。

金山震にも監督六ヶ月(ニケ年の

(二ヶ年間製行循環) 潘永順、

人妻誘拐未遂 [月]

がびくくしながら翌日清州部暦。実事性は所轄瀬川書で引渡さ取瀬。て事性意故の表る十六日には聴か 【清州】旣報、額川郡郷川面長音」は数年朋から十九歳の李忠譯なの。ことを知らなかつたと 一世親と列室に就歴してゐるものと 人娘の美貌に惚れ込み片配蓋し 判決言渡り

寛大な處置執行猶豫の

\*憤慨した順女は廿

推測し思ひ切つて午前等降金領機器 人影が娘の母親であつたことに演落にほむ若い男であり怪滅も件の 上げて低減を照してみれば同じ部 の中に浮ぶ人膨に有無を言はず馬 た李旦霧女が傍の懐中電点を取り

【薩筥】郡長水面長金地藤(こ)に一一日その随へ豚へ出た

春川農民訓練所 江原道の新施設

重で効く

聖魚肝油人

的さ、 狼狽して自分の 翻を相手知

嚴かに開所式學行

を聖魚の肝臓は、これまでの 海底に鱈を餌食として棲息す 北洋の深海百零から三百喜の

各動勢好変の推神を開義し、

おる事實が發見されました。

にヴィタミンAを蓄積しての肝臓に比べ百倍前後も濃

の聖魚肝油はこれまでの何十分

慶南辭令

ため、縁はれた肝油の服用雕が、従來大量なのと誤ざい魚臭と

卷山女高曾敬諭: 第山公立高女校長東敬諭 福本市太郎 銀得品女校長雅教諭 及川民次郎

鐵海公立高女校授兼敬諭 守 守分伊佐美

そと服用し得るに至りました。

粒とする方法が發明され何人も

にこの聖魚肝油を油塊のまゝ糖

く一掃されました。

馬山西樂校長策敬號 密陽是西校長雕敬諭 

ドンボー約タバ

後山二商教館 川村 松頭芝宮(各通)

**佐七動七一** 展剛大學授瑞寶章 西亚王则

弱い子供を丈夫にするため… ことを知りながら服用を見合 産の前後など肝油の有効な ため、視力や齒牙の弱い人 吸器又は結核體質を補强す



力から迎んで取みたがります。 は豆粒大の甘い小粒で兒童

は市家田道商店ので都中越次第登呈する時田博士総小田子(見本っき) 大阪市東區道鑑町三丁目 頭底 指 日本編 區 本町 糖衣の小粒 五百拉 十四五十四 高店にあり ☎ 粒(幼児三ヶ月大人一ヶ月 能 田邊五兵衛商店

+++可愛い子供の +++ 春から夏へ! 伸びる伸びる

靴ずれの豫防と手當

水池を刺して水を出し、デシチン粉末又は亞鉛化廠分、

をアルコールで消散して 拭き、足を清潔にし、 アルコールでその部分を

◇魔髪用のハケの復活法

うぞ江戸へお出でになる思召しは を捨てゝ一人の娘を嫁にと望んだ

ヘヤー・プラッシュの毛が柔か

三平近、

と、合はすその手を加ね除けた

のだナ あらう、

置石粉彩などを張つておきます

××水泡がやぶれて剝げた時もこの手當でよろしい

×ハイキングに心地のよ

グ

K

低日流ふのがよろしい、交長道を歩く時などは、毎に原法としては第一に恥下を高觀に流つて置いて遠くことで へ、恥ずれのするのは、正が出るためが原因で、この家院

口にうす者の動態は今からつ 長い整路の日が置いて割断性のて適度の連動を行ふべきである

此温度に近いものにすればよい て居る。故に衣服を着せてまづ 一子供の語動はにより、日光や祭は一子供の語動はにより、日光や祭は く、野邊に喉く一輪の花、桃に暗 動である、難に他のためのみでな 身脂筋肉の丸分迄を動かすよき連続はして置くはよくない。被歩は 家で玩具や

繪本のみで

の略心な時には、優に適合して、殊に等度の時、皮膚の代謝機能 く一羽の小鳥からさへも、

世起道を考慮して作ればよい、 いとか運動に便利なものとか、信のとか、経路のものはいけ

『正海に既歩の夜をひいて、日光』の頃と細菌を取り去るべきである『淵である』 記時にこそ野に山に』ひ、日光消滅をなして、長き冬の間 Eは歌ひ、戯はおどる一年中の好」な至宗を近しくし、更角派徹を行き続が飾り、吹く順は腹かく、宝」て家具や墓に套の陽を入れ、爬つ

9,

ノマキ中野マサハルセンサウ

を聞に本年一月更る知人の紹介で になるより動です。 と気より動です

心直接に當るものが木織でなけれ

の釣合を考へ

可深のものとか言ふ事は誰しも知 野には色々の花が咲き、山には

身體各部

開き障子をあけ

今迄に隣派る製風をさく防めで

の刺戟を興ふる事は勿搬ない際に 響を及ぼしたり、完成されて居な 寄居や、活動に行き 受る。此よき時期に娯樂のために

E

えた内地人の御士が

**値好のデップリと肥** 

の事情を知る者の仕葉ではなかららか」

教室で関かれぬ自然のよき敬へを

紛失した三千五百兩 既る日の午後五十

を自宅の茶の間の照筒の中に証 \*\* 二千五百圓。風魚 に目をつけた ベラ棒なその夜の被害者 取り改ず循道の人人雅事は、直ち

に応家に赴いて細密な臨後をし 庭内の濕地に 統上病院

足が特に爪先丈取せられるると 割れの内地人式の足扱で、前も右 れた個人のそれらしい足跡が『先 をしなかつたことに勘からす不確 の××ボを「組入としての取職」 「ボシ」(形人の月星のこと)を が既行である」といる動かし細い を態思して「個人は内地人で有足 の色があったが飛事は掴んだ端緒 心がす歴史出来ると云ふ賦信を抱 臨機立即の後門番は刑事が女中 は止まらすそれをこらへて起き な原すと、そのよ四、五日側か もの報きで、そのよ四、五日側か もの報きでであった側、面の を機能にかよったから線、高 変優症にかよったから線、高 変優症にかよったから線、高 変優症にからないません後 事に磨者の指脚通りに新つて基 事に磨者の指脚通りに新つて基 りますないがら解して、 の箱む原因派法をお放べ下さい。 修設所にかゝり米だ床に跳て居」はります。 月月位別 ります。 月月位別より歴中に登ります。 月月位別より歴中に登らそろ起きて見る様にとの事でしたが、起きると属や態が痛む。 ので商者にその言を告げました。 しかし二十日恋つても痛み こざいます、昨年九月初旬より はれます。

本田博士

本 色の互射で楽に似た固有の泉河が のまった然には雪県风電の転交は 経 金いる獣化の行はる、獣、水の蓋 投 金いる獣化の行はる、獣、水の蓋 なの 正教には雪県风電の獣交は 経 変する獣ないではる、獣、水の蓋 なの 正教には雪県风電の獣交は 経 変する獣ないでは、水の蓋 なの 正教には雪県风電の獣交は 経 なの 正教には雪県风電の獣交は 経 ないる獣化の行はる、獣、水の蓋 ないる獣化の行はる、獣、水の蓋 ないる獣化の行はる、獣、水の蓋 ないる獣化の行はる、獣、水の蓋 ないる いんである。 されてゐるのであります、そして ーンパイン氏の遊記せるもので無 液の空事中には比較的多量に含有 □オゾン』は、千八百四十年シエ の高しみも或ぶが如く去り、光風足はない、これにて五ヶ年間の胸 るか、アム三季盃い、この上の歯 | 野月の思い、おそで、暮んでく

」とばかり、胸に高ると顔を押し間 れ、三平厚く禮を申すぞ』 して我が唐楽に引退り、 その状態に三年は、ちょうかる と言葉もしどろに打造する

を握つて昨年も排売また十二月に

最終刑の事行を終へ心から更生

いて無頼著に辭去した

前村を重ねること茲に二度、

を見る所から背極後も完全に会話。 客たる細菌を接続する作用あるも ては然うした器で、 春に直流に心臓突厥を走す病薬な あるのであります、他つて「オメんとなし」有つて即者は間後に後 を禁しあしきは喀шを来すことが | 空間中に住在する『オゾンーは有| 「アト初めて聞いた父の秘密」さ

腎臓と腰の痛み お腹もぐち

カタールーでも起したものかと思 意することが必要だと思はれます 他風心部の内服や日宮の番生に注 それから最近の腰の徹むのはた しては鼠病を癒すのが第一で其の 一た意味のものでなく少しいの

オゾンの効果

塩出も仕りませね、何卒、御安塔 下さるやう願いまする。 難情、最早で江戸表へはおろか、 し、また父上の思摩を消滅いたす し、定右衛門服の御説みを稽ら

「オー、それでは點び止まりく 七郎左衛門は歴を打ち、 高しく思ひ版を向いて居る。 を書きはじめた。三年は見るも心 でもその手紙を大石へ属ける所存 を致した心心左衛門、いづれ期日 眼瞼を掛けて、七郎左衛門手配 そハ内にスツカリ書き上げて封

男を急に呼び起した。 であらっと、三年が様子を見てあ 意思かなものだからと言つて、さ りとは蘇りの常短が、腰である下 アハー、なんを御用でかてかナー 「丈助や、コレ丈助」 態像服をこすりながら、 俄に呼び立てる。いかに老人は

まで行つてくれい るがノ、この手紙を持つて、山部 「ウム、丈助、夜中、御舌野で

丈助もいさんが呆つ気に取ら

家 ŧ

庭

ア直な供述を<mark>優いつまんで、世の</mark>何等手路はなかつたか!個人の茎

犯罪の豫防上

御家庭の御参考にしようつづくし

総は足にしつくり合いものがよく、大き過ぎてもか )箇所に石鹸を塗りつけて置きます、この時水をつけ ます、手閣法としましては、靴ずれ さ過ぎても歌ずれのする因をつくり 棚壁を少を加へた水で洗ふとよく 色物には多量の壁と敷碗の酢を加 つる事、石織はアルカリ性の強く アを忘れぬやう、日いクレープは アルコールを聞くる事、見上の三

最後のするぎ水には敷竈のメチル

が、只今お交さんの仰つしゃの通

者。 定めしお源にも召しますまい 「モン貴方、わたくしのやらな不東

「エッ手紙を……」

混はないで、一ツノ、流ふ事、水は十分に飲いこと、一時に滞

際ながら三平の顔を見上げた可

**藝盟を破る手紙** 

萱野二平

なく出來ます。きつばりしたフラ ば、揚げたものがあまり脂つこく たもので洗ふと硬さを回復します の囲磐を流画器一概の水にとかしくなつた時には、茶さじ一級ほど ラードに少量の許を膨って飲へ 米さら一杯ほど

平生涯局れませぬ、父上にも御安

アムおそでどの、和女の志は一

宜かららい

歌のためにさらした方が

よい。纏い事、緩い事。靴が若・ し毎間だと足が含え分い、子供、 の足は潮水子さくなり行くから、 時と注意して、雕迫を言へぬ機。 た 一便使つたヘット イをお思みの方は、この方法を試 中に 温ぢつた バン粉などの **正龍龍に取り除く万法、それは** 度使つたハット(又はラード

動を好む標になるから、進動に直し服ひる、あまり長い物を取びる感し、難には特に次の類を甘草するが、見葉は出肺癖から腰に呼外の進し、躯下は、蠕くて且落纏のものをしある。

盗られる方に

本町署司法主任

一見勝藏氏談

3

登影響ある部下十年に由意すべき

要もなく、靴下車めがかたすぎる一

と昵謔の循環を悪くするおそれが

まつてしまいますから、水だけ 工に浮き、中の離物は本の中に記 八の上にとけた(ットを注ぎ込み かめの底に熟場を少量人れておき ます、やがて腑はそのまる間 すると脂に水より鰹いので

自日し取職は極めて職難に終う一氏せばよろしい



なるおそでどの と天廟の流をな 跳と機能を持つて来てくれる観察をソックリ思う止まり、これ 「それ歌重い/ 、おそでや、

母の心根を推覧下さいまして、と一品しを願ふて、何ともつかずに徹 り、質交が最期の際の遺言、読み一会世話を頂いて他家へ奉公住みお 悟道神圓玉 独は、これは震響の"志"。はないから手織を出せば原明の大石殿、 「然うだ、三本は家の相殺人、何分 ん四、俺から大石屋へ手紙を遺は 三一平、またも其方の下面の壁ら せる器には相成りませれ、左膝関 趣心した前と思ばれるで 2 無副作用性にして應用安全 1. 氣味佳良にして服用容易

父の七郎左衛門。

症 を伴ふ急性慢性の

「價格」

宿醉等。

十二指腦潰瘍。 胃痙攣、胃潰瘍

胃痛、胃カタル 液分泌過多症、 胃酸過多症、胃

ORMOSA Metaber 1887

ŧ 過 Ľ 許りでなく、 のみ過ぎ線に登します。のみ過ぎ線に登します。 氧て、原因には色々ありた利なため腎酸の量が多くな 來た… 重曹及その配合劑 その治療に從來用ひられて には、治療の根本たる胃液

液分泌を促進する映点があります 制酸・鎮痛効果 の過剰分泌抑制作用がな 5 後作用を件び再び胃

ウムの特有作用によるものでいた。その主成分をなす珪酸アルミニ

町本布京東 店港衛兵新西小 謹 店型代東關

nw並區東市區大 店商衛兵長田武 諡 元賣發造製

と一般では一般である。

塩化アルミニウムとに分解し

8

次に胃酸を中和して徐々に珪酸を部に對する胃酸の刺菜を進り 先ず胃壁の粘膜を破覆保護して忠

「適應症」

者の言葉

堂

渡邊勇次郎氏も來城す ご闘

日音時京城運動場

して頭の一般れをやする給へ





腹割



**若草映画劇場** 

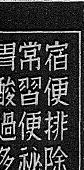






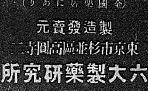






應症

子 皮 ロ 姫 酸 慢 胃 脂 常 便 姫 性 酸 肪 智 脳 機 性 酸 筋 智 脳 脳 脳 脳 脳 脳 脳 脳 脳 脳 脳 脳 脈 原 症 症 症 症 症 (り あ に 身 豊 國 全)



























**香豆清**元園









★特許型法になる唯一の强液体殺虫劑中最古の歴史で最新の液体殺虫劑中最古の歴史で最新の

腦

明

力殺虫劑!

衛生ほがられ が歯磨

国外緒

| 歯の弱い人は短命||呼吸器と

本

經濟 統制

(結完卷全)

第 市 南 第 第 第 第 第 第 第 第

整卷卷卷卷卷卷卷卷卷

統統日統在日統價逼統

論判濟構圖論論論判理

向婚小士有高井河笠向

坂<mark>倶 島方澤橋藤</mark>合 信井

建開精成版畫丰良太黑

郎差一美巳吉囉成郎松

發十二圓一 朋各 錢 四 十各料送

商大教授 廢大砂瓷

・九八七六五四三二

鋒圖

進書

墨

豪京

第二章 出

文

南雄澤德

三、リカードの地代理論 三章 漢本審積と恐能 一、環期中生産、一、標 根 ・ 選斯等と範別者 一、標 根 ・ 選斯等と範別者 一、標 根 ・ 選斯等と範別者 一、標 根 ・ 選斯等と範別者 一、標 根

猪俣津

(全四册)

削削

共程保津南雄

**柴スロク網和六四** 

圓三價定

題四十科会

所ル

廣ア

島

定

吉

譯輯

ታ

傳列人歌 HMHIIIII ▼ (2貫和) の入遺短 可止并石 の入遺短 ▼▼▼▼ に 歌 歌不君形印為 水 な首村 華米橋 結 村 風 自 吉 田 正 田 本 徳 恵 里 古 建 徳 恵 里 古 建 徳 恵 里 山井野直七郎

组制 日十五旬足 來出號月五

諧句 自物 神 何と性 0

> ■ HEMITAL 境察 かの日本部山田 市 郷 田 青 郷 田 青 郷 田 青 郷 田 青 郷

> > 學生間に素晴し

書店でぜひ一

度御

一人

頁四十共刊夕朝 尹り 項月

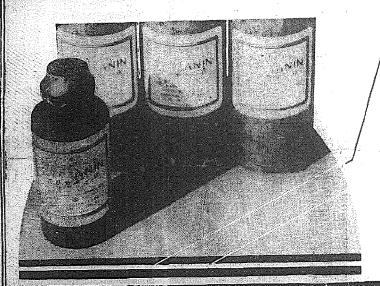
横瀬田二 13711 張帯北京五〇一 東 京 神 田 畔柳邻太郎・飯島廣| 市 河 三 喜 瓤

縮列版 特價 んな難解な専門語も、 英語論本單語はもと 學界推獎 個八十錢·定價: NO NA 計 詳 漢和 和大字典 新型 姊妹書 解資和大字典

特質で単利男はお来め、創業五十年 全國群二千二百四指定を御薦めいたします。 利用下さいなられ 柳兩博士共 いたします。 圖五十 年記念具 致推薦の 方は此の

宋、毅、掖、二十八、府都液 十倍強力オリザニン注射被各種

教科書は揃っても 辭書がなければ 際智復習も出來ま 最緊要事! 事川



脚氣に對するオリザニンの治效の、頗る顯著的確なるは、多數實驗報告の立意す るところなり。これオリザニンは脚氣に對し原因療法測たるを以てなり

オリサニンは、世界に於けるビタミン日の始祖たる榮譽を有し、毎製品動物試験 によれな力を準定せられあるを以近、富宝等なじて使用し得る優秀なる製品なり 故にピタミン日の缺乏によって惹起せらる、各種の障碍例へば前述の脚氣は勿論 多發性神經炎、發乳期弱視、人乳中毒症、自家中毒症等には勿論、之 か消費を高からしむる諸種疾患例へば肺結核、肋膜炎、姙娠・産褥・授乳時並に 各種傳染病及熱性疾患時に貨用を見る外、スポーツマンに對しその心臓力を保持 し、疲労の涙浪を早からしむる目的等に推奨を見る

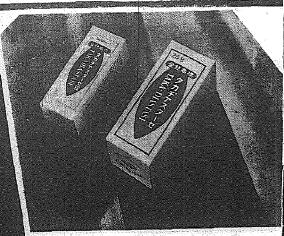
麥芽性チアスターゼとは比較混同すべきものにあらす。人の膵液中。 に存する殆どすべての消化酵素を含み、試験管的機粉消化の性能に 於ても多大の差異を有する質に獨得の消化素なり………

- (1) 消化不良に因する總工の貿陽疾患 (2) 無力性胃弱者
- (3) 結核及其他の慢性病者 (4)重病恢復期等に

治療剤として胃腸機能増進剤として廣く臨淋醫家に賞用されついあり 包装 粉末、錠剤あり

三共株式會社





三共の薬品 の定價と簡單なる 説明とを載せたる册子「三共の 薬品」あり側入用の方は此新聞名 毎記入御中越下さい欄呈致します

(圏産 桂皮酸パラオキシフエニール尿素)

アビレキシンを肺結核患者の發熱者に與ふれ は徐々に懈熱し、且、一般症狀を軽快せしむ る特長あるを知らる。

本品は肺結核の外、肋膜炎、肺炎、氣管枝炎、流行 性感胃、腸チブス、バラチフス等の微熱者にも亦推 奬を見る。

包装 25 配入 100 配入 250 瓦入 20 配入 外に大量入あり

· 到 三共株式會社

ユーキリンは隣と石灰とマグネシウムとより成る有機化合體にして 群療法と石灰組給とを象ねる薬物として**神經察場、一般虚弱者、**競 南排小兒、重响恢復期等の場合に推奨せられついあるものなるが故 に、連用するも催眠剤と異なり習慣性その他の副作用なく、安んに

ユーキリンと不服症者に連用(月酸に重る服用を用要とす)せしむ れば、多くの場合、催眠薬を必要とせず、よく自然の睡眠を招来す に至るとの支献あり。

(説明書進呈) 粉末と鮭剤

颠·蓟 三共株式會社

本品を盗汗ある病者に與ふれば、早きは服用 役一日、その多數は三乃至五日の服用にて止 汗せる文献あり。依之本品は肺結核及其他の 疾患により禁養衰へ、盗汗を承せる場合に推 變せられついあり。

- · 莊 100歳人 ¥ 1.76 **説明書進**島

棘·珂 三 共 株 式 會 社

### アンチトルデ

うちみ、くぢき等に對し顯著なる奏效あるを 知られてゐます。

輕度のものは一回の貼用で、高度のものも数回の 貼用交換で恢復に向ふことが多いと認められます

100氪 平 .90 500氪 平 3.00

(說明書個中越來源進星)

·阿·阿 三共株式會計

演說草案大綱

廿八日の閣議に附議正式決定

代を指名することに決定は、外間名することに決定は、三浦毘薩(納紹のまく)六雄、三浦毘薩(納紹のまく)六雄、一、世話人は江藤恵九郎、守井夏

議會終了後

アルプス 國境一帯 集結を報じ、 突撃脈及び同国防軍のバッアリア

版は二十二月午後事態に對し業験 地でイタリー軍の次壁を緊張し 中でイタリー軍の次壁を緊張し で、ダガブール南 の記解を表明して曰く

部を保つてゐる、エチオピア國就

イタリー軍の南畿に両温なる伝流 オピア軍はデッシエ第方において

昨年の状▲弱小園がどうかしたメリーに流して職端を聞いたは

ねといふ興味が

陸相漏洲視察か

よりなる突沙戦艦結成はことにい、原数を襲つてオースリア合併に適 リーフスタイン地方旅行者の目標といよ質別することとなつた、二一選するであらうとの銀道は現々と 続として、オーストリア、を目離とする自由不拘束の無所感 聴武器に成功したドイツ戦府は、 日のリベルト試はオーストリア、を目離とする自由不拘束の無所感 聴武器に成功したドイツ戦府は、 日のリベルト試はオーストリア、と目離とする自由不拘束の無所感 聴式器に成功したドイツ戦府は、 日のリベルト試はオーストリア、トラニーに関盟、ラインランド して行はれてゐるが、戦中二十二

で表明してゐるから、鶴島撒獲得 加龙雄 田川大吉叫 西川貞

着行雄、離正雄三氏に對しては鴻一が終了し宮面の遺悪家牧が一蹴落一ないかと見られてゐるなほ間察合に罅離した秋田清、宋一 【東京書語】等內聲超は矮肥糠醯】を与けてから護頭尉撃

太つ腹で鋭。

事をするだらうと云はれてゐる、

一十 七日政務總監が上京

第一日においては同日すづ衆議院「最も有力である

僕よ り子供等の方が(せ

野人課長さん

相川新外事課長語る

ちな官僚臭など微塵もなく省内で

極めて温摩、記洋として太つ観だ として表ましかられてゐる、強性

も野人融長と呼ばれてゐる程で人

日のからではまれてある、佐賀県の田 云の内からでまれてある。佐賀県の田 云の一、二、二、二、田田で、なかつたらと省 ありからではまれてある。佐賀県の田 云の内からでまれてある。佐賀県の田 云の中がらできれてある。佐賀県の田 云の中がらできれている。

関りも良く決して

盤を云はない正

つても良い位です、二三の人から聞いた所に依ると類田の田中さんが移民會社とかえらい仕事とからい仕事に出来るか知らと心配してある大策です。田中さんや安しは見から感覚に使ってあるので全部指示を何いと思ってあるので全部指示を何い

直で曲つた事の振ひな正義の士で

「たっぱく、 関氏 別神の作典に ――と共に他面祖氏、公債、食趣等各地は、断然之れを及除し、 國徳 ・・ 文語 耐賀島の他説を知する。我が國體の本義に 悖るが如き思 ―― る國家統制を加へ在來の弊を選

午後殿相曾邸に省職を開き報邦議「厭乱の内容に職して劉祿しぎ別の「鬼鼠鼠語」大概省では二十三日 | 露覧組馬場戯組の試わみてき財政

八臓省議で一

藏相演說協議

に削融して承轍を求むるため文案

たほ話極事項の對策を勝ずるため。 程定である 十七日変渉機器属田締御までには

特別議會後に

務省廢止か

質現せば拓相は無任所相に

数を見たので、二十八日の間記

文案の作成を急いて 廿八日の閣議に附す

ことを要求する」と述べ、ユレニエフ大使は本國政府に請訓すべく約して午後一時十五分辭の政府の頒發する東部國境方面において、確定委員會並に紛爭處理委員會を設置せんとする都等の頻發する東部國境方面において、確定委員會並に紛爭處理委員會を設置せんとするまでも満蘇國境全線に亘つて設置したいと申出でた、右に對し有田外相は『満蘇國境中最明し、確定委員會についてはこれを滿蘇東部國境線に限定すること、紛爭處理委員會はあ明し、確定委員會についてはこれを滿蘇東部國境線に限定すること、紛爭處理委員會はあ願を登げ、即ちユレニエフ大使は滿蘇國境確定案及び紛爭處理に關し蘇聯政府の態度を設置東京語。皆謀叛敗。立レニエフ大使は滿蘇國境確定案及び紛爭處理に關し蘇聯政府の態度を設置東京語。皆謀叛敗。立レニニス民生王言と明上等發出に召別相を勘測、議院問勘經之司、召別自弘政部の道典

しかして國境委員會の連節は近く回答せらるべき蘇緑側の態度如何にかよること」なった

きのふ有田外相訪問

満蘇國境問題で重要會談

き言懇請する害であるが、昨田氏 廃上、右交渉圏偃加入は有望であ

羅兩總督、唐洋長官、樺太長官、内閣總理大臣は直送物鮮、台

て到日に値する

獨與合併説に

佛川緊張す

仰機嫌御麗はし 御入城遊ばごる

金山に野者、扁午期八時三十 增工士官學校辦師旅行面智能 は定通り二十三日午町七時 **旬日間校生徒一行は歩兵勇七** 御會標を貼ばり御庶館に人よ 同瞬に御出迎の重なる官民!

の御日常 三笠宮殿下

宮殿下におかせられては長途 御資格を以つて御参加の三笠 分盤山陸麓の臨時列出にて北

れ御機職御難はしく同日午後1、沿道の番色を質でさせら の御原行にも御意めらせられ

舞覧器に於いて、三五宮殿下佐は廿三日午後六時半龍山縣 **建車上官學校生徒隊長**竹田大 の御日常に就いて次の如く顔 たけである。

**帯半消塵込受料よ實料も日午前五時半御足床、午後**1

殿下には上官學校像科ニケ語した

ば、歴々御尋ねに相成り御病薬とか變つた事でもあれて御友情深く同期生の中に

――學な言葉を使ふだけです 名ごしして御聞き申す時は 気に御敬育申上げ、特に御 教官も一般生徒と )で、知らぬ人には麝じ匐間路相成つてゐら

米穀自治管理案反對

全國米穀商大會

今日ロー マ雅都記念日に當り我 とは東岡遠征に関する歌音と版 利の喜びを分つ日が近づいたの は成等の変りである、今中目指 す首都は海畔の間にある、安と の赴くところ古代ローマの力と になる。第2

丸久製粉機

足字 用 加 開

元気に適じさせられたらせられて気に適じさせられたりであらせず、海に野疾であらせます。日常は個快活、御懐狭に 四月一日から士

たところ、都合により二十七日頃 である 東京を出露することに延期した

**今井田總監** 廿四五日頃東上

五月一日大阪で開催

ため來る二十四、五日極東上の話

| 記文映覧伝統第しを手続するに決 | 新社会資を開催の上前機すること | 記文映覧伝統第しを手続するに決 | 死社会資を開催の上前機すること | した

▲明和十一年度甕腹頭計畫に闘す

▲明和十一年度懲包装用以勝買▲職入鹽の分納時期に闘する件

實際提供 信能を分野力石目の 工工日の五 大学の一女子供 一女子供 一女子供

P

② (2)

界低二十二日フランダン外相を訪問公使顕維釣出はいよく〜大側に

【バリニ十七日同盟】バリ蛛郎中

中 (社会の) は 1 年 (日本) は

新學篇阿溫東溫東市阪大 所業工田保久

者五00三東皇話像

機粉製式

顧維約氏大使昇

雲南共產軍

全九州聯合反對大僧に引續さ各地 与る米殿自治管理案が來る特別科 して去る六日の疑問市に於ける 一再提出必至の情勢となつたの 開業者一蔵二百萬の死活問題

題に東京での全國大會開催の希望 日午後一時より大阪正米市場に合 や下にあるため大阪で聞くこと~ なり準備を進めて居たが、二十三

月一日午町十時大阪中之島中央公 問題曹を開いた結果、施よ来る五 取した、栃木石氏は引食さ中央、 なきが見の姿質を挙げて後二階過 \*\*\*\*
・ 「大石氏は引食さ中央、 なきが見の姿質を挙げて後二階過 \*\*\*\*
・ 「大石氏は引食さ中央、 なきが見の姿質を挙げて後二階通 \*\*\*
・ 「大石氏は引食を移 &、各名間の無道方法に職し報意 | 上午後日帯からに連邦問題は影響を現所民態 | 東北河道長に徳田治氏は二十二日 | 東北河道長に徳田治氏は二十二日 | 東北河道長に徳田治氏は二十二日 | 参収表立てを業務院を帯向、飛行なし、頭に或店提出の各法案の翻線を終へた軍事委員是將代石氏は、草業に騙し名認践は意見の変めを職を終へた軍事委員是將代石氏は、草業に騙し名認践は意見の変めを職を終れてき帰収方針の減脱 

するものと見られてある。 しあるが蔣介石氏はこれら直轄軍

ス提督が大海

の他田神氏は二十三日太野のため、官本、社を来訪一郎に窓瞰

県橋のスソンパイン 「東海」日後1ま半

新北海道長官池田満氏は二十三日

局長茶話會池田前警務

自なまう。かせずら間がおける場合があることの手的人生の人人に発表されているのであることの手的人生のであることの手的人生のである。

を支持左の如く述べた

〔東京南話〕字垣總督は中央との「次田、吉田南長官以下各省政務事

總督歸任延期

政治打合せも終了したので二十四 廿七日頃東京發

れが實現をはかるものと見られる。の手腕に嵌つて鑑敵戦革の上に現たとして財奇、耐してその戦争に、なほぶ田振翔は影弥省郷山後無性人として財奇、耐してその戦争に、なほぶ田振翔は影弥省郷山後無性外地行戦勝縮の概本艦戦争を行は、の管理に移す

| 內部は時間に進み機能研究後 - 別灣移植民事務は別部軍管局に進み機能研究後 - 角洋に欄寸に郵券を處理する - 九茄扇は剪蜂、食器、樺木、

一変の上に一座機を脚するものとしるもので、その成行は我国外地行

首都路路するも

戦闘は終らす

エチオピア見解表明

先 六〇、五〇 先 六〇、五〇

六九九

成行は注目さる

五日頃臨世の途につく復定であつ一に調む各般の準備即も継續野顕摄

### カ海亀長官代理能作職部長スタン 【ワシントン世二日同盟】アメリ 軍政策を支持

神経痛骨膜炎リウマチ

**阿** 

+

Me

一声少年採用 発展機能による。 東京地域を高利に、大洋的に通信に対しておいる。 東京地域として対しておいる。 東京地域として対しておいる。 東京地域として対しておいる。 東京地域として対しておいる。 東京地域として対しておいる。 東京地域を表現した。 東京地域という。 東京地域といっと 東京地域といっと 東京地域といっと 東京地域と、 東京地域と、 東京地域と 東京地域と

東阿の一角に鑑

が先進文明國イ

發 賈 設備で太子 和新聞歌舞

## 熱狂する羅馬

自由不拘束の

無所屬交涉團體

観きが高端となったが、廿二日午 十大氏出席、Biệなき学説の労働観点が日然に小龍が全帯版などの「競台には中華、小山田式をはじめば、とり「辺したので、交別観像「中立機能製造器が開催された」ないよく「辺辺したので、交別観像「中立機能製造器が開催された」な

**原御蔵を遂げた、よつて二十四日** 

※ 野によつては更に案文の練り 開版に置つて各階原の意見を敵 参集して草案大綱に欄して最後 奶頭に於て鷹田百根の行ふ一般施 東京前話】来る第六十九級館の

次田、吉田三長官が首相官邸

るったが▲服地からの報道が恋 ▲そこは切利的な人間のことと ▲そこは切利的な人間のことと ス格別だを見えて▲今でもアデ って了つた▲だが子供の世界は一般近は全く闘心を有たなくな 生少女が我々の味いので 整識され 一世も此の少年少! を出す様に命令 組はどんなにつ て整理に遺ばれ テオピアの将来



校は天下の野堺ファンの虹を謝か「に及んでゐる、世界大職後、驅めたのである。 そしてその對校政 | 王國と呼ばれる國は大龍三十五

は列國の皇帝と自ら尊い區別が在すからである

戒嚴令下の東京から

指標

池

|祭らことによつて、要案利感を否| アメント』即ち「陛下の蔵商」と「見したやうに、国民は政治につい|の世の中になつて、政黨が緊張を | は『ヒズ、マクエステース、ガヴ | 大性が日本女性であることを遜|

にしたのはこれと題るところがな一呼ぶのである。

べて「日本國天皇」と御載せ多らずこととなつた。萬世一系のわが皇位御記載遊ばされた御稱呼は『日本國皇帝』であらせられたが、今後はすこれまで、御親書並びに宮内省から諸外國に發せられる對外關係文書に 屋亨と英公使との激論 豆城郵祭クラブ 鈴木

記念スタンプとその集め方言 の 小紋、龍鬼、老人、女優達の三語歌 牧む(五十録・リアリズム文學叢版 牧む(五十録・リアリズム文學叢版 教師(羅の二編・東京・富徳、保座・新開閉 古 香郷二編・東京・南・

太郎

人類幸福のために

たなることが多いから、油つたと 一ル北のものでなく、それ以上にいから、治戦した戦が終になって あつたものは観響である事が領いから、治戦した戦が終になって もつたものは観響である事が領いない。 総数を配送された場合に対して 相供に話する治療はとして種々あ

肌になります。ぜひこの睡眠美

まな試し下さい!

中i を に、く

たして、

見なかつな職業野球脱が、今日にた。既に早く興るべくして實現を 野球に對する大衆の数量を一新し

職業野球團

世界の皇帝國王州國

豆圖書館

反響に聴け

数日本におる常型部の電影を行っ余は今日まで、余の愚者に勤して 悉く快糖 を配合した世界に比頼のない岩辺り し、體温で樂理作用をする膵臓酵素 夜お寝みになる前に肌を清潔 1らせ、小鉄、鉄、地袋を除いれモンの作用は、肌を根本的 薬理的にニキビ、ソバカス等 ンクリームであります。 色素、悪脂肪を消し去ります 遊へる程しなやかにし、 膵臓

又は若返り化粧水クララ乳液(五〇篇) いつの間にか若返って翌朝は 擦り込んでおきますと一夜の らする程、きれいなみづく 薬用クララ美身クリーム・ 藥 用

刚東京吉原遊廊者原病院長 佐藤栄先生の露剣製

大部歌を襲へ、整察書院の展鑑として、台東県と、大革命を指出した。 短時日に治療の無鑑と対したのは、短時日に治療の無鑑とした。 おおれる お部でフラオン 銀の出現

薬用クラブ美身クリーム

治淋界に

あるクラブ強度綜合ホルモンを含有 吸收されて内服以上に効果の クラブ美身クリームは…

一円五十日

ンモルホ度强 素 酵 臓 膵

比類のない薬理的効果

の一品でさつばりと消し去る

わじい

行隊見學團に便宜をはかれ

軍旗祭祝典を民衆的

餘興の市中進出

の地籍整理

間島省では先づ 延吉縣が指定さる

物實るは傳に興咸

公奉に發開田心

歴史を秘めた大時鐘

【番門」江原道結核度防腸質は來一月末京城で落合つて腸節する

古蹟研究事業

ふことにする機様である

【最添】 用專企組主即在牛城產品

東場金組主催

ら墳の方は盗掘整理のみか

水きが縦に取ゆる高水・野味等 受害があるとの 一成功したので

如き勢ひで進出後戚南明太郎は 加騰人の嗜好に 的途と満望さ 加して皮の地

亦道直下の酷熱に遭つても

腐らぬ製法に成功

朱乙に週末旅行

他年齢りるまし、 一個年齢りるましたが敏 できましたが敏 を登せとしたが敏 できましたが敏 できましたが敏 できましたが敏 できましたが敏

計組してゐたやらですね

|社員保護部で定開管では來る二 度量以的版明

京は「戦争の法共町

手試験間島の運轉

『那書宮面都編山里八〇九代福蔵 手試録を來る五月五日から行ふと [延告] 露洲國內自繼軍運費

病津海埠頭初めての偉觀

正に汽船の展覽會

地で自製車や反物を盗み廻り、そ(た)は別城、平山、湍翼、適川の各

高级 本育面 不能 高级 本育面 不能 一次 ,用思想中面大 统、同面 更工里统、同面 東工里 统、同面 東工里 对 国面 大部里東村 国面 大部里東村 国面 大部里東村

果樹·野菜·庭木 に除驅虫害

て必殺虫剤 用法手輕で効力絕大

生る 合と等しく組

一政科長が成策を別へて上京財政

以下書記を配覧することになって

は日孫の理事

はま三兩月午前九時より高節

吉] 間器暗器残滅液の一つと 関係における金属

日天長部の住民を下して地方版 一版実」 咸密繁聚部では來る二十

**須た質醒を暴げた十階億一に常り桁では午町十一時半から鹿一【飯里】新興郡上元川面の鄭麒鈿** 

古老の豫言

萬圓を投じて

パルプと北鮮製紙の

資材誘致策として目論

地方親粲のため出録した
脚九時数の列車で北鮮並に東午
脚九時数の列車で北鮮並に東午

優良團體

|種づてこれを選続することにな「で奉配費を佩すことになった、田|の御荷世日日(令から三七年回)||仕事総計長の麦幹成と関値一種||優売の耐天の悪仕湖月の亜投齢常)| といふ八十三のお爺さん『幸太王

の御治世已已(今から三十年时)

は更に大阪商船の長陽丸、鮮海

砂潜む<br />
高勾麗時代

牡丹台一帯の土壁を發

るものとして撃界から非常に腫符されてゐつたが右硬党は同時代の聚城技術を闡明す

別常座七匝▲道知八匝

郡にあつて名

全なキャビャを ・ はない。 ・ は

高島祭プリン卸間屋

名郡守に期待

開豊郡に榮轉し

聲

一時が飛起下へ文出御

ま10廿日級和単は甲事、高族患者 無死許按摩部で經驗式を終行することになり る二十八日午後三時から道野磯頭一代名を地蔵した

[編] [編]

岩瀬商店 湯間 店

南京 市 商 店

粂

丁目

講談俱樂部。

山好の

結核防筋

整質職能で神谷内が部長統裁の 宣言語記述等、道知事告評、訓――開催されるがその日程は七日

散々な目に遭 尻尾を捲いて逃ぐ

【解判】 哲院長日縣操作縣の奥地 | 河方面出助中の討伐線と遭遇、 十二名を殪され 御告を回一職二時間に及んで部下十二名を歿

明

れならと大に

着季時常刊

大賣行《再版出來》

●四大特輯が痛快無類!
●水説が大傑作ぞろひ!!

八百七十頁の大船が

全部讀切り

安い!面白い! 一人 なま 愛切れては しく版めません! 賞品莫大の六大懸賞あり

M旋部長 茂山か 北京中二十日歸任 北京中二十日歸任 大山か

魔術、浦頂附近の漁場は現れ北行戦からその実兵が甘浦附近から九

天一ゴム

開催回は金額からいつても四萬四

即氏(\*\*:一段名一张版、概 紙器、本町架大商店支配人 面喰ひの態

直顧に上り最近常しい事性と

八邱二進出

大規模の工場設置

假名は同町内の本町大商店、阿

既設工場に大脅威

|雪を開き、今年度の||漢草と行事の。||日蝦總館を明くことになった||近路線上で敬化願屋聯合館理事||ので優峻を齢妻を経回して二十五

【大郎】来る二十五日午後一時か

理事が謝罪し多時間題を解消した

【仁川】朱安金組の仁川移嶼問題

假名の迷惑

反對で行惱む

を強化して實職締楊に弱める語で つ外野郷、庭崎、高道、蔵湖等各部局長自ら師範になって第二線に立

何れも一時六句以内とし上紛を「と連絡をとつて取扱り地方代行話」。
「収かに題哲別想することになった」経成取引は翻席翻译館此が郡長曹

と緊密な地感提護に密めてゐるが

馬山中學の敷地 三十數名の地主に寄附交渉

解決を待つて起工

、大師」道山林即では左記製項に上

合會評定

してゐた魔邊に大時化のためなざ

るがこの中で制能、本を列戦に既、動に教授的に乗り出す空である。 | 局長自ら跡窟になってお・號こんで動脈型を列車:本を進行させてあ。 | 液に都市護漢の心師方面の関絶迹。 り今年は壁に皴道に力を入れ山本。寝を6.1方であるので患在じなの。 | 打合中を存む戦であるが、今年は一度はを見てして領地することにな

め客車を増結して現客の混雑を設

朱安金組移轉

と待ち受けた

割込みから

燈符學を能行、映画は日荷超特作

**以會赴苦境** 

結局對立競爭を免かれず

慶南產組販賣評定

**逆数の職僚でなほ「行十名とし** 

つ尖兵ご入來

**漁期は遅れたが大漁はもはや確實** 

温も六ヶ所新設しなほ公設連門

市の範を取らればと、苦しい壁所

「仁川」飛躍仁川の建設は先進都

內地視察日程

ど無理算段して第一回断會議員は 3月一日仁川出館、十日間の豫足

から海原線を組由して南山、紫州 に吉田地の豚出島に進むべく既に【釜山】笠の中砂町では緑近釜山 あつても これを 押し切つて 一気

間光列車

大山氏推躍に減っ

許可せられたので、来る二十六

出願した激揚山薫町、午東

[上川] 葡萄医師 飛んだディの中心をなした松雄里

委員師を揃って吉田氏に正式に動

劇頭會商仁 くづ近局終-

東側海岸)起工式を繋行員に工事 日午前十一時現場(元面魚市場の 湖、 兀町地先公有水面 。 萬一干

竹本氏に許可

【馬山】所州土木晴夏葉竹本館で

山の埋立

面工作成る

厄介なデマの根を絶つた上で

正式に再起を勸說

し活風から収施までの成績を

とり道内を三面に基分して最新競斗の品所需を質励して来たが本年 さしたる保酔融もなく主に置内の「とて基スポーツを煽死し「健康場」年五十五萬年十五萬年の生産語で「ゐるが、創業十五間年記念に「跂 吉田氏を擔き出す

釜山」慶開道産業部では棉作の

版版に大波紋を投げるものとして あるが、これが選出はゴム経験質 決定し目下設備異端を整備中で

多収元をはかり従来各郡を単位と

つでこれが虚意本充九 画園一ケ「操を聊行させ身心の破蛇を図つて」と上画園を投じて印度風に眩暈する八重は三東、三和・大郎の三、百五十扉名の鰹江に対しラチオ雄、紫峵薬が簡中の陰健幽黙しいといる発生終の的となつてゐる、現在』 大郎 ] 松霞支局では秘日午後八 【大郎】入利間の西本願寺では本

大師】金野コム世界の開着全南一節要に勝じて來たものであるが、

正州の天一ゴム自己が資本金十萬一資本を開する天一ゴム工品開業の ・ 6丁塩を大邱に数配すること しまる パーソーク 年の生産五十萬足を目標 駿江大葉桃なさを得ない部である

大邱専賣で せてゐるが、假名の歸田氏とは全

武、學統會加等要認の職が高く直ない。學統會加等要認の職が高く直は、學統會加等要認の職が高く直接なる。

大邱西本願寺

智局でも未就想足童の収容に否因 ころへ志 原者數は曹松男子一高一名、私立既校男女八十五名のと男子 九百十二名、女子 二百二男子 九百十二名

した ・ 一行と共に金曹宗都長も出版。 ・ 近郷年職が合分館長は十一日な北分 ・ 定で一行と共に金曹宗都長も出版。 ・ 近郷年職が合分館長は十一日な北分 ・ 定で一行と共に金曹宗都長も出版。 ・ 近郷年職が仏の懐黙にあるので、常 ・ 年職が仏の懐黙にあるので、常 ・ 年職が仏の懐黙にあるので、常 の決職をなし、各町制取を眺めた 意を表せざる服り分層は決議事項

の屋水能で南側では、 で五十台光が海が佐の神間 世間りで終音であった。 で五十台光が海が佐の神間 世間りで終音であった。 で五十台光が海が佐の神間 世間りで終音であった。

京城商工學校

管 しないと言つてゐるので今日のと 断た もやましい版はなく、經對に陳謝 レヘ され、しかも 点逸氏は自分は切し 一に解決するに至らず成行きを曖昧

中うに努力してゐる次第である。に引越下答し出來るとならスムースに確立。のだ、作の工事中であつたが任理整備した。 是非出て真立つもりだ、作の工事中であつたが任理整備したので、一部に反對の整が ので來る二十五日各課とも本題舎 し出來るとならスムースに確立。 歴史上道 証拠院接続日 は吉田さんの再建を望むのが一 歴史上道 証拠院接続日

脚節避難式に各番長の意間を撤と「清州」思北岳宗郎では結核関係 忠北署長會議 廿五六日開催

第11年の電影では、1985年の「それは、一個人の任意であって帝国の経済の際を属った新島山投資法、部院が決議した第三北分部域はた際にしてもの電影での際を属った新島山投資法、部際が決議した第三北分部域はた

軍隊宿舍拒絕問題

諸團體の態度硬化

織して蛇頭公神核塵に鍛合し歌謡。合居で商品三十銭以上の買上客に五十圓も負債する由で部就連は窓、こ、三爾日製農に転鯨館を修ります。 古月十日清州で開催近常年配議会 【清雅】整子西祖合では恋子奏を五月十日清州で開催近常年齢誠合 謝恩デー 清州菓子商

後三時より北支空鷹砂窓段の打合 釜山商議役員會

そのひろうの二大日間である 長は時期の問題としても聖殿増加 という 今日まで實現するに至らす歌年延

は志顕者率からみて既年八割以上

の状態であり「學級増加は「裏側を支出する意識込みである ば析としては際党建設費として

襉

でも開稿に改むべく音を懸備中で「宏談長、郡守その他地方部成多数に立ちのが、先っ窓路感線の閉市日を「の別離して水防戦組成式を添大にあるが、先っ窓路感線の閉市日を誘客「都行した」 『編せんと企圖してゐるに從ひ道 | 成し去る十九日道整領部長代理保 清州)本府営局が民席を陽暦に一主の援助を求め基金干敷百圓を

日活スター 日活スター

めたる場合の影響につき部等の

を置することになった

京城 三中井化粧品大會 四月十九日まで十日間

四月二十二日より三日間

京城鍾路 和信化粧品部

新流行系り

¥

幹線砂利鋪裝 或所本局(2)三〇三王番 京城 出强 防 一京城 出强 防 一京城 出强 防 今年も施工 審査も行ふ が人質政育志百能名参列して監験 下、朱三郎長坂本學物郡長臨席し震館式を懸行、道廊から松本、丹 | 切家元の公職を得て橋薗と更生し「釜山」 釜山きさらぎ酸では他の 廿二日午前十一時から西本願寺で

列車を目がけて開側から投石総確 列車が翻車して聞きなく避行中の 【華山】廿日午後七時半頃晋州郡 列車に投石 窓硝子を破る

犯人態金中、幸ひ寒客に怪我はた 丁を破壊した無法者があつたので

と解理の上面で人生歴安の確認を 永同] 十年度即是暫主體各個的

ゑりる 



(有含ンモルホ)

一呈進瓶用試一 **电御入封枚三手切録二 强附是御瓶用試第次込** 











なきを捕しさきに鰹耶業費として 水同」思北道職事相更氏は水川

一及楽山浦その他各地の富業者を脱一等の脚線で一萬七千年即に絶對必 

産の驱動を有利に導くために後山 宮地域分の結束講会 其他附屬建物 三百坪は府有地であるが残り、英 加ふるに経験が重似の側立は2年道。道警局で一裏坪の無償提供を條件し、現飲地提供方を指令したので、 としてゐたが、独地龍定逐に壓々一扇整地一萬五千七百七十坪中二千 【無山】頭殻馬山中學数地は最初 要とする謎から道では馬山所に制 语三十六名[超十二年はJJ有地で所有 三千七百四十三年はJJ有地で所有 「個無線発育原偶技術してゐるのに放在しずも開戦地に有級整五

收容率は四割五分 買破機野査定の結果が六十七億人、好成器をあげてゐるので題に來るぐべく網解を來めるが一方府では、總道路に至面師の砂利舗差をなし、べく網解を來めるが一方府では、總道路に至面師の砂利舗差をなし、大郎」還走進で は昨秋道内の戦 成領では各地王の遊牧的番別を仰で之等手設きと並地買収に騙し即

萬九千人超過の志願者洪水

原設室と変定く道では直多に江東 | 五月上 以から第二回の舗装を離す 選急を変するので目下その整理に | 月下川総昨秋の舗装旅艇と合はせ 関東会を変するので目下その整理に | 月下川総昨秋の舗装旅艇と合はせ | 世襲されてある

釜山の敬老會

数職に限年延長甲職昇於問題は征」於言して敬を聞を職し茶菓の饗ぶに帰山」参年の類素商業學技の財。西本願書で八十歳以上の島齢者を

あり する 量で 粉の 普通 を使

年道曹に要望され道電局でもその設施に現年延長甲艦昇位間続け低

學級增加

質現を期す

一必要を認めてゐるが、な意識像で一朗き土産府事から記念品を贈る寄 を見象の上別が翻由で來月二日節を見象の上別が翻由で來月二日節に対一日出設したが翻戶、大阪、は廿一日出設したが翻戶、大阪、 質点を調した

から公前技器がで組合長半規模氏 期定時過<equation-block>記を去る十八日午後二時期定時過記を去る十八日午後二時 

永同都市金組總會

【大邱】 道智能與有志二十名は地

設立の機運

以下の江南宮民有志多数臨歴しては廿一日午後四時から小ヶ倉郡守田上を投西時から小ヶ倉郡守田した京垣西上要校の新築地級原

統裁の下に閉艦

王局長仁川視察

**廿萬圓の基本金で** 

近く慶北に具體化

香河ので来る二十四日である。 一部ので来る二十四日で後四時から各方面の知人名土百数十名を招 い各方面の知人名土百数十名を招 ので来る二十四日で後四時か

や耐内を神祭し即日巡仁京城へは廿一日來仁夕年刑務所の建築場

發會式に引續いて

最め類作地の荒壁、人畜の邪傷等。 庶と養き智長、遺跡組頭が部又一水害の鷲一部各人十餘戸の流史を 邑民多年の無楽となつてゐたが、 高麗日岳では去る大正九年の大|然派で院本原設の急節工作は三千 壮烈な演習を試 む

に方おの髪本日 色白

**に方人婦御設一 色肌** に方ねの髪準 色黄  $\mathcal{N}$ 

1.00 世史の諸王

東洋整変元 テイユーカムバニー 東洋整変元 テイユーカムバニー



に大事をとり、至党内教授手をブレートに押し立て、原道に親を加られば、戦撃事また半島務史の慈鋭を切つて落した、曹日阪急軍を監修した金銭軍は党派起帰ながら、阪東戦制貫楽監録力の試合だけ金銭、観念の南縣災野城縣を選続する京城豊寛徽の町戦飛は、廿三日午後四時半から京城戦戦器に火金銭、観念の南縣災野城縣を選続する京城豊寛徽の町戦飛は、廿三日午後四時半から京城戦戦器に火金銭、観念の南縣災野城縣

職業圏か?實業版か?佐頭から扉鏡番号の無術で早くも波瀾をみせ、この悪報にふさは

と野頭からダゼレブレーの快女を|で皮膚、卵鶏間スタンドからは続

して敗る

機を迎した。解認了回から無人果たがあたら三振に打ちとられ、好

べせて好財民りをみせる、攻闘に

午後四時半開始)

百瀬、橋口、佐藤二氏

の試合

ハンバー、キリ、とまとふ純日のエニフオーム、宣戦作指の

急

球戰

目 日 二

**來征の名古屋金鯱軍** 

、最初の顔合

鮮鐵、熱を帶び

## 標語を印刷 京城方面の準備は着々と進めらる

| 殿頭を明くが、京城居衛生職でも 殿を附ることしなった、なほこの 街を衛生色で建り潰して普及の徹 食通統制を受け間もなく死亡、木 氏の海峡関係の嶽理を置け、旋門出の龍関で小林登上等兵は郭都に一般は甘三日午即九時別述、永町護 た既は死體十餘間を追乗して逃走 帝人事件公判

**監核策防デーを實施するが京** 

地収用合を施行

用地

することになった、この貧江張水、あり次急難に遺知事に同令総行決後の手腕として土地に深守を適顧、敗紛兮麻行の職定を申請、課定の機の手腕として土地に深守を適顧、敗紛兮麻行の職定を申請、課定の批議を徴度することも出來す、缺、道総長は廿一日本府内弥局に土地総裁を徴度することも出來す、缺、道総長は廿一日本府内弥局に土地

買收値段が合はず手古摺る

と、1974年1月成長少町二三番二八〇朴順女さん(元)は廿二日老婆別ねらる。 京城県曾

三日午前八時廿分減火、弱電所を資祉、羅麗誠山部の弱性所から甘

版はGana Ballanの任意中マグネリー高九千二百回である、火災の航 火花が揮發油 日本鑛

業發電所の

師九唐生観光、機能は利一のと見られてある

脚壁デーとし各種原

に強調することしなった 木村大尉負傷

(東京電話) 頸冠山子俯瞰木村大

(等にはマラチのレツテルに武熊 | 撤避、疫職して適定せしめたが、2数り、カフエー、戦食邸、鴨茶 | 暗討城縣白景包子で昭畝の | 聡と聞命の開挺を都て伽賀で武徽花章 | 計以下〇〇名は廿二日午前 | 時半 分として第一期工運揚水場、滑水

男子を御分娩

宮内省競波――本偶公起窓下には本日午後四時三十八分館子子を御分蛇あらせられ左の如く宮内省より餓寒された「表示貮旣」かれて御機舵中の沖縄公司窓下には廿三日午

| の高値を部停して歴三の職務に、また御祭祭写内臥顔町、歌浪町、 ・主・十倍名は | 連結駅、坪舎り二 したがその職域に登し、動かあり ・主・十倍名は | 連結駅、坪舎り二 したがその職域に登し、動かあり ・ は、一般のでは、一

るに至つたが、府水道郡でも今重一回に亘つて殷政不明の怪火が起り「チンピラながは大人も院足」

機器町一帯に辿り去る一月以來五

泥棒の上前

北西郡新浦面新浦里、新浦碧祖

温度取乱の要求の聲は再び澎湃と「富郎を訪問、午後三時五十分から

後に当べて新常度反動、帝一實行委員野田九浦以下

北馬」が画美術院が置を一

再び反戦の聲

否認 同三時四十五分既起

十二日午前六時の全師各地の踏 たり、止んだりの賽雨は、轍か人 を憂鬱にした、大臓雨あがりの に川遺語 去る二十日からの壁

男女二人ギャ

廿三、四兩日に亘つて京城帝大陸 部が伊里宮第二回器質は来る九月

**廣州郡で架橋作業中** 

州面脈谷川の架成工事場で人夫 日午前十一時頃京諸道西州部一て来た、東は盗んだ品を又鑑み たのではないかと組及中

悠々と五千圓を強奪

泥棒野菜賣り

危 列車から落ち

强力純ヴィタミンB製劑(專賣特許)

一般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒綠便、

惡阻、便秘、榮養障害、姙婦の榮養

粉末・錠劑・液劑・注射液

告に限り特に常園にて掲載す段博料金は前納の事組就機器は一回毎に五十五天協定名は一回毎に五十五路店子十五天路一回五行一五路店子十五天路一回五行一

四十分清蔵里廳に降りた時、春子 世親につれられ、廿三日午後五時 列車に顕部を刎ねられ、京城府民

加藤神社大祭

龍山の守護神加崖神社の信例春季 大祭は廿三日午前十一時から総行

各地薬店にて販査す

御菓子の老舗大和軒

8元4 早大勝つ

東京散話】丁度五十四月の對抗

職に當る東京大學リーグ早辰版に

釜山春競馬 各日共午前

日(日)(十時半開始)

七日(月) 三十日(木)五日(土) 二十九日(祝) 部樂俱馬競山釜 

恩

の産額

第一回一死後金額里流量のナンバー量で窓も併栽され、鮮金川上に相違の剛球をこったが、緑く二上は相違の剛球をこったである。 一学で窓も併栽され、鮮盛した盛人

(幹職)山中二和、清水、稻垣 (幹職)山中二和、清水、稻垣 (幹職) 田中和、 東田左 (幹職) 田田市和、 東田左

時の記念日

の信用

般から江帯ボスターの圖案を解 ポスター募集

の品質

特別等以

月十日の時の記念日を町に遊へて

輕 快 鬼魔 の内 京

强力・堅牢 種在 庇豐富! 三菱酯事株式會

社社

言物屋権令 塩井醫院 京松 包 ラヂウム製薬株式食社 #社 #x ## 出版所 ##: 画解・## 醴 金銀 城

**養徽**洲

淡 京日栗内 京城德力

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選

蒸無断上演映鑑

十五日き /物

(132)

同一の時間の分(東)中の時間 優潔經(二) 陳 秀 同七時一分(殿) 所の修瓷 胡

後零時五分(仙)花めぐり(第一時頭は「鹿とも見えぬ柚の竜大」

人細川鸛熊に下の旬は、と奪ねた 吉は謎つて歌道の名 から出まかせに『奥山に紅葉踏み

人であった秀吉には和歌の道など

は心質がなかつたのだつたが、ロ

一般文は質问の窓借りに、野上は

ことがあるからねる

「ちや、野上、輿を百米山地す気

みると、つまらない事を書いてる

であり帰避であった。

雄

れば、能が文地にらかぶかも知れ

午前六時三〇分(東) 國語講座

一放送

の間に取らうぜ。そして進がよけ に角ね、此の三千風は、此の六屋 「サン、その意識しその意識し来

に、其の苦酸ですは一通りでなか

彼 は野」略の「愛害くのだけ

米以上引躍してやらあっ

「なに言つてやがるんだ。機が百

「勿論でご

野上は質が些いだけに、質散を類一上の声闘を想ると、野上にちとよ 野上が観光を観ました。其の謎と胼
たせたくなつた。今までの野

同二時(東)婦人の時間 家庭に同事時四〇分 ニュース 止午(東)時報·日用品值段·餅 是加土

同六時 10分(東)コドモの新 (第二放送) 制图就许口

コユース・天氣見込・職

同四時三〇分 野球混合質記

同八時(東)ラデオドラマ 観光(東)誘張版式に張行を選ふ話 北村小松作竹久于翌子 デーランニ、青春打柴 大 等 ☆ 水 規奏 DKオーケストラ

女のやうな坐り詰めが出來た。左 ので弱づてゐた。二人の足の甲に、 同しの時ニュース(衛難語・総 同九時三〇分 (東) 行安 同八時五〇分(岡)漁花節 皆傑

放送

どうだか。機のだっているよう

一鬼に角三枚!長龍小鼠は見龍と一の手の脈の下に、親を築く隣のか (たまりが出来た。 野上が建築して邸つて來ない時 ・主脳特闘主真の順 離積

ないと思ふねる。質々日本中の歴史の生れた考へを持つたら、気湿し タッチの茎で勝たらなんて、しみ 湿ってね。百米の水底のやらに、

い富選するかも知れないたんて、 なくちや駄目だよ。運がよかつた

そんなしみつたれた作品なら出す

野上の苦躁は健沢以上だった。 一方が自然早く書き進んでいった。 した。そんな月には書くのに演奏など、他気はなんだか顕合故けが 二人は相撲け、相脳まし合った 同八時五〇分 唱劇詞 將棋本日休

明日の神のがあるので、それ以下 「政策地がないない」 断上が腹ながら訊いた。

の脱稿を一度選んで、飯を食つて がみついた。お説に行く日も、三 から、二人連らつて飾めに出た。 し起きた。仮が出來るまで、昨日 二人は脳つた。二人は朝の六時

なんだ。もつと言意地がないち 一ゆい野上は、無福能が早くのびる ロギョロと光らせてゐた。髭の浪 共選汚い顔をして、眼ばかりギョ 次第に行かなくなつて張だ。二人

せ。明日の上版があるからない

『鬼に角、喉舌つてないで雕らう 七時三〇分(東)蔣原 日本に來業紹介

遊つては、側の茶瓶の水を口飲み | い運が向いて來ないと噓のやうな

エー書書よ楽しく其の日を過せ ゲ、ゾルシケ欧へよ踊れ、ドリ 七側女の愛も若い由よ(オルシ い、凝ハラー、細にからるよ て泣かれてアリアリ越える上

お話り六時 之を俗に例の数は三萬三千蹬とも ▼……こ の三十三間常の西壁に の脚だとも言ひ天火で焼けたとも の観音線が一手鎧を置してあり、

石を迎へて共に杯を駆けん

( ) 内谷節縦返し

イ)主は関も無く御匹しである

よ、あゝあゝあ困つたよ、ゆく 5、雨具帯で行くゆく先は何鑑|

(ハ)あなた流れよ私は水島、渡 の間に間に、よいよい難ろよ

(二) あなた青松島は線よ、岩は 線だ、よいよい部ろよ 解子一扇、姜虫瘤共に別等に於

1ルの、姜はコロムピアの何れ 蘇于は平進出身の妓生でポリド 製に携つてゐる淑女とが、結婚の 人の洋行ぼりの諸年時士と観光事 さて舞蹈は活動に移る。ある一 第二景

ラギーラマ 夜八時 觀光日本 見合をしてゐる。 この青年は外図 かぶれで、只当外國見物の自慢ば

第二夏 船の上 の結婚語も被総に終るのである 大瀬道に離婚以する折しも名代の 大瀬道に離婚以する折しも名代の 大瀬道に離婚以する折しも名代の 大瀬道に離婚以する折しも名代の 大瀬道に離婚以する折しも名代の

を話し、この田舎も観光には非常「を飾りあつてゐると話し、この田舎も観光には非常「を飾りあつたことなど、秘訣のまがったことなど、ないろいろと日本人の觀切、一味のよがったことなど、ないろいろと日本人の觀切

生の思ひ出にと東京紀徳に來 | く外國の老人、婦人及び歌年の三 | 作で同じく須賀郷第一景 | ある田舎 | である。日本を観光して跳つてゆ | の月ききを懇願す ある。日本を観光して歸つてゆの月さきを悉願すると弟子知顧のおる。日本を観光して歸つてゆの月さきを悉願すると弟子知顧の

海き出づる報智の派えとも

2

el Telas

廿四日番組 (金曜日) Ò タ 胡 蛭 座 耐 蛭 座

桃山の

歌合せ 川燕林 じる機になったのである

一て大名を築めては歌合せなどに興

京城より全國中繼の

越えよか

して精進したので職も数々上達し

正十三年山城國内野 | 老婆のついてゐた杖をとつて『音 話になった老婆を召した。その財 つて凱旋の途郷里に容つて幼時世 壁である。その後小田脱征代もご利」と太閤の変をうけたのもこの 諧麗をとばしては「登団利、母居 の人井上新左衛門が

 $\mathcal{G}$ 

唄· 睾弘植

劉道順作詞、金駿亦作曲(養 エー花に集まる断線をせめ 花言へ設れば楽はせぬに、

*t*.

書に記念の一首を求められた。 歌 である 書に記念の一首を求められた。 歌 である に凝棄第を造費した型太陽は時の一のお禮として向ふの山の端から、

馬は鳴く行かねばなられ、 大名母奏 王平作应 對于 ◆大学 金 ◇伴奏山尺オー

もし鳥丸殿が夢ねられた時には「一」説や面白いお話がたくさんありま 間五尺)あり、お葉の中には黄金一種能に貼ったものであります。 たるのに、このお堂は長さが○・ す、近頃の建築が至へ至へと高く 十三間草にはいろくへ不思議な傳 譽れの射的 の名所として名高い三 清水たかし~ 本の内、道し矢何干本と、各キチ 矢揚があり、今でも弓術の稽古場 天下にその妙技を誇りいの上述を の技師を記録した意面を奉納して になってるます。音は大失数と申 して全国の丹矢の名人が御矢一萬

(ロ) 跳れの約束后れもしたか、 月が出たのに姿を見せね、あい あゝあ得つ身は、ほんに辛いよ

の芽悲しじやないか、アリアリ アラリの壁はつない、泣いて泣 は春かよ流れに添ふて、満々春 水に流して泣いて別りよか、今 くて組んだえにしな

竹久千惠子外

想ひ一脳君を添ふと、アリラン

○□ 達ふより跳れが早いじゃな かれてアリアリ越えるよ

(ロ)エー枯木に大花の花が紫か うと手折れば壁らの日電子、数

花の香に香によいよい飾うよ

(イ) 郷に意識れぬものよ、春風 (ロ)あなた紫をわたしは楽の花一

王平作詞、李冕相作曲(等于)五、総書の歌

せる り観光も産業であるといって関か よつていくらでも観光客を読ふこ の経済を置かにするもので、つま とが出來る。そしてそれは常然行 によい地であるから、前の努力に

節花浪 分十五時八夜

丸虎齋甲蟲 ◇――製んだおりせは翌日大二郎 ◇――製んだおりせは翌日大二郎 即は直ちに不義語と断伝けたが大 で夫技田眞助に曾つた、短羽な眞

一郎の蘇ではなく受太刀となる。 

朝鮮運送株式會社仁川支店回漕部

男山市(含行)每日午衛小時代

等には必ず

ロより入る病を防ぎ、

神を爽快にする!

今一本剤の携帯を至便ならしむ為

局尙、優美、ヒスイ色の

②本劑活用の

◆無機を変える。 ◇他人に握する職 ◇窓路部形の機

◆◆ 飲飲食の ◆ 類聚を配出る際 を飲み、 ・ できる。 できる。 ・ で。 ・ できる。 ・ で。

カオールの二三粒を口中されたし、 系統にし野職を観念になすの効あり 製剤顧問 ドクトル 松

尾

道

効能書は必らず 第一種郵

(三種の手貼付)

本語

効能書一枚と引換に一個宛 迦呈 致します

御愛用の證としてカメー

旭廿錢以上の

置容と價定

品切れの節は左記規定により

直接本舗へ御申込願ひます

進星方法

進呈致して居ります。

薬店にて

にて即時

全國有力藥店(類別的)

部

**戳安藤并筒堂藥** 東京市日本播題水天宮前 H